

訪問リハビリテーションについて

理学療法士 谷口 晋吾

訪問リハビリテーションとは、ご

自宅にリハビリスタッフ（理学療法士・作業療法士等）がお伺いし、生活環境に合わせたリハビリテーションを提供するサービスです。当院では、理学療法士3名・作業療法士1名にて、約70名の利用者様へ訪問リハビリテーションを提供しています。

訪問リハビリテーションでは、「利用者様の自立支援」と「ご家族様の介護負担軽減」を目的とした支援を実施しています。具体的な支援方法としては、利用者様の病状・障害・生活状況・想いを踏まえた上で、個々の利用者様に最適な「個別リハビリ」を提供しています。また「個別リハビリ」に加えて、主治医・ケアマネージャー・訪問介護・看護、通所介護などと協働して自立支援に向けた「チームアプローチ」を行えるよう、日々の情報共有やカンファレンス参加も積極的に行っています。

「どのような場合に訪問リハビリテーションを利用するのが良いのか」といったご質問をいただくことが多いので、利用をおすすめする状況を以下に簡単に説明させていただきます。

①退院後の生活に不安を感じる場合
入院中のリハビリテーションで「できるようになった」生活動作が自宅退院という環境変化に適応できず、「できなくなる」ことはよくあります。このような状況を避けるためには、自宅環境において退院直後の集中的な生活動作訓練実施が重要となり、これを目的とした利用をおすすめ

めしています。

②在宅生活中の生活動作が行いにくくなってきた場合

在宅生活中の方で、生活動作レベル低下（転倒することが増えてきた、移乗動作の介助量が増えてきた、車椅子座位が不安定になってきた、など）への支援を目的とした利用もおすすめしています。「なぜ生活動作が行いにくくなってきたか」を見極めた上で、「個別リハビリ」実施や自主訓練・介護方法・環境調整の提案を行っていきます。

③社会参加をすすめたい場合

社会参加とは、家事動作などを行うことで家庭内の役割を担うこと、外出などにより地域の方々との交流すること、趣味などを行い日々の生活に楽しみを見つけていくこと、などを言います。生活動作がある程度できるようになり、次のステップとして社会参加を進めたいと考えておられる方への支援を目的とした訪問リハビリテーションも実施しております。「どのような方法が安全か」「どのような工夫が必要か」「どのようにトレーニングが必要か」といったことをリハビリスタッフが一緒に考えさせていただきます。

訪問リハビリテーションでは、上記の様な取り組みを通して、病気や障害があっても安心したその人らしい在宅生活を送れるように支援していきます。訪問リハビリテーションの利用を希望される場合には、まず



は担当ケアマネージャー様または主治医の先生にご相談をいただきますようお願い致します。訪問リハビリテーションについて、もっと詳しく知りたいという場合は、マキノ病院リハビリテーション科にお問い合わせ下さい。

「訪問看護ステーションより」

「暮らしを支える 訪問看護を目指して」

訪問看護ステーション 所長 幸田 ひろみ

少子高齢化、人生100年時代を迎える社会となり、「治す医療」から「支える医療」へと医療の在り方も見直す時代に来ています。

在宅看護とは、在宅で療養する人々に対して、その人が望む生活の質（QOL）を維持、向上させることを目的に、本人、家族に対して提供される看護活動です。

生命の維持のみではなく、その質を問うもので、「どう過ごしたいか」「どう生きたいか」を重視しています。終末期だけでなく、慢性期疾患を持つておられる方、障害を抱えておられる方、介護予防の面からも、本人が望まれる暮らし方を尊重し、本人を中心に関係者が一緒になって一番よい方向を考えていきます。

これまで暮らしてきた地域で、それまでの生活スタイルをできるだけ崩さず、自分らしく生きていけるよう支援することが求められています。

訪問看護は利用者様の生活の場へ出向いて行き、利用者様があくまで主体です。利用者様側に立った看護の提供が求められ、利用者様と一緒に考えていきます。

例えば「リスクを負ってでも風呂に入りたい。」という希望に対し、何とかしようと思えばみんなで一緒に考えます。

当ステーションでは、今年度より滋賀県堅田看護専門学校3年生の在宅看護実習を受けることになりました。学生指導に対し責任の重さを感じつつも、訪問看護の体験を通じ、訪問看護のやりがいや楽しさを感じてもらい、将来、訪問看護ステーションで働いてみたいと思う人が増えたらいいなと思いい受けました。実習生を心よく受け入れてくださった利用者様、家族様たいへんお世話になりました。どうぞございました。

実習を通し学んだことは、改めて利用者様の立場に立ち、家に訪問者を受け入れることの気持ちや、健康を阻害している要因、本人を取り巻く環境、介護状況、本人や家族の希望などについて考えてみることもできました。

そして意外なこともありました。学生の質問に対し利用者様、家族様が得意げに教えてくださるようになり、「今日、学生は来ないのか。」と聞かれることもあり、普段とはちがう一面を見ることができ、学びの場を提供して下さっているなと感じました。人は誰かの役に立っていると感じると、生きがいにもつながります。生きがいを持つて過ごす大切さを改めて感じました。

当ステーションはスタッフ7人で活動しています。利用者様の暮らしを支える訪問看護を目指して、地域の皆様のお役に立てるよう頑張っています。

何かお困りのことがございましたら、気軽にお声かけください。



小児予防接種の予定（1月・2月）

| | | | | | |
|----|---|-------|--------|--------|--------|
| | 三種混合・二種混合・麻疹風疹混合・ヒブ・肺炎球菌 おたふくかぜ・水痘・BCG・日本脳炎・子宮頸ガン 受付・接種時間：13時～13時30分 16時～16時30分 | | | | |
| 1月 | 5日(金) 26日(金) | 9日(火) | 12日(金) | 19日(金) | 23日(火) |
| 2月 | 2日(金) 27日(火) | 9日(金) | 13日(火) | 16日(金) | 23日(金) |

マキノ病院理念 マキノ病院は、患者様中心の医療と福祉を
実践し、患者様およびご家族の信頼と満足を得ることにより地域の
皆様に安心していただける環境の創造を目指します。

健康教室のご案内

『糖尿病』

「低血糖の対処法
知っていますか？」

平成30年1月18日(木)
午後3時30分～

～当院では生活習慣病などを学
びたい方のために『健康教室』
を開催しています。～

場所：2階図書室

「糖尿病と検査について」

平成30年2月15日(木)
午後3時30分～

どなたでも自由にご参加で
きます。(入場無料)